



## JAたいせつ

学校と地域の農家をつなぎ、様々な農業体験を提供  
組合員全体で子どもたちを受入れ、交流を実施



JAたいせつは、「消費者や次世代を担う子どもたちに農業の魅力や食の大切さを伝えること」を目的として、2007(平成19)年4月に「JAたいせつ地域グリーンハート協議会」を設立しました。現在、JAたいせつに加入する約100戸の農業者が登録し、稲作をはじめ畑作、野菜、酪農・畜産などの農業体験を提供しています。登録している農業者のうち、宿泊施設を持つ7戸では「農泊体験」を、その他農業者では半日から1日の「日帰り農業体験」を受入れ、その日行う農作業をそのまま体験してもらっています。また、農繁期には受入れ側に負担のないよう配慮し、学校側にも理解と協力を求めるようにしています。

### 農業体験の窓口

担当者 JAたいせつ地域グリーンハート協議会事務局（JAたいせつ農業振興課）  
住所 旭川市東鷹栖1条3丁目635番地58  
連絡先 電話：0166-57-2357  
E-mail shinkou@jataisetu.or.jp ※有限会社アグリテックでも受付（電話：0166-82-0800）



### 受入れまでの流れ



JAたいせつ地域グリーンハート協議会事務局 中田陽介さん

### 食の大切さや農業の魅力を伝える

普段何気なく口にしているお米や野菜、乳製品がどうやって作られているのか、実際に手に触れ、農家の方と触れ合うことで、子どもたちは農業体験の前後で「食」に対する見方や考え方が違っていると感じます。食の大切さや農業の魅力を伝える方法として、農業体験が一番分かりやすいと思います。

### グリーンハート協議会構成メンバー

- JAたいせつ ● 東鷹栖農民連盟 ● 鷹栖町農民連盟
- 旭川市農政部 ● 鷹栖町農政課 ● 大雪土地改良区
- JAたいせつ青年部 ● JAたいせつ女性部
- JAたいせつ稲穂の里協議会
- 旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部
- JAたいせつ酪農振興会
- JAたいせつ畜産生産協議会

### みんなで田んぼに絵を描こう！

## 「田んぼアート」田植え体験

主体者：JAたいせつ田んぼアート実行委員会  
担当者：JAたいせつ農業振興課（電話：0166-57-2357）

JAたいせつの青年部が中心となり、2006(平成18)年より「田んぼアート」に取り組んでいます。その田植え作業を学校の農業体験の場として活用しており、毎年地域の小学校をはじめ札幌市の中学校などを直接受入れ、関係者を含め総勢300名規模で実施しています。完成後は見晴らし台から作品を眺めることができ、達成感もひとしお。農業に興味・関心をもち、身近に感じてもらうきっかけとなっています。



会場：旭川市東鷹栖7線18号



## 大空町の食と農を 考える協議会

町や教育委員会、地元団体に構成する協議会  
農業体験を企業等がサポート



大空町では地場産物であるかぼちゃの栽培を軸に、「小学校の総合的な学習の時間への支援事業」として農業体験を実施。町内で有機栽培に取り組む「大地のMEGUMI」のほ場を使用し、種まきから収穫まで農業者と同じ作業を長期に行うのが特徴です。子どもたちの作業が生産者に感謝されることも食育として重要とらえています。

農作業には毎回10名程度のサポーターが参加します。さらに年1回、専門知識をもつサポーターによる特別授業を開催。収穫後は販売や、サポーターによる料理教室の開催など、単なる生産体験にとどまらない取組となっています。こうした体験は町内のみならず、他地域からの受入れも可能です。

### サポーター 紹介

#### 農作業

大地のMEGUMI、大空町教育委員会、  
コープさっぽろ北見支部

メンバー…………… 20名程度

#### 特別授業

東京農業大学、北海道大学、網走信用金庫、  
北海道網走桂陽高等学校、  
京王プラザホテル札幌

メンバー…………… 10名程度



メンバーの確保方法 「大空町の食と農を考える協議会」の会員及び関係者の紹介による

### 活動内容

- 有機栽培かぼちゃの栽培体験 …… 播種、草取り、生育調査、収穫
- 販売体験 …… 秋の「輝農祭」及び学校行事での有機農産物の販売体験
- 各専門分野の講師による特別授業

### 特記事項

子どもたちへの農作業委託

町内の子どもたちがVegestaという会社を作り、大地のMEGUMIとの共同及び委託契約での作業を行っています。1.5ヘクタールのほ場でのかぼちゃの播種から収穫までをほぼ子どもたちに委託することで、単なる農業体験にとどまらない食育活動と、農業者にとっても有益な事業として継続させることを目的としています。

### サポーターの声

コープさっぽろ  
北見支部の組合員

“働く”からこそ実感できる、食の大切さ

小学校6年生のかぼちゃ栽培体験をサポートしました。子どもたちは種まきから一貫して関わるので、みんなが土に親しんでいます。逆に教えられることが多いですね。その後も物流から販売まで行っているので、6次産業という

ものを体で理解できています。子どものときにこうした“働く”体験をすると、「食」がいかに大切か気づき、農業が守られると感じました。なにより子どもたちが生き生きといて、畑の力ってすごい！ 私も元気をもらっています。

ここに連絡！

大空町の食と農を考える協議会

(株)大地のMEGUMI内  
電話：0152-74-3020 FAX：0152-74-3181  
E-mail：daichinomegumi@ipstar.ne.jp